(様式1)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業

実施報告書

1 学校名

岐阜大学教育学部附属中学校

2 実施内容

研究テーマ「わかる授業、楽しい授業の実施」にかかわって

- ・個の能力や特性に応じた深化・補充型の教材のweb化
- ・教科におけるweb教材の積極的な活用

研究テーマ「高速大容量回線を用いた学校間等の連携」にかかわって

- ・モンタナ州サセックススクールとの交流計画
- ・韓国との交流

3 実施時期

月	研究内容	備考
4	年間計画の策定(交流計画、授業計画)	
5	深化・補充型の教材の作成と活用	
6	モンタナ州サセックススクール校長との交流打ち合わせ	秋を予定
7	韓国との交流打ち合わせ	
8	Webメールを利用した生徒同士の交流	

4 成果と課題

・Web教材の作成にかかわって、授業時間だけではなく、休み時間や家庭でも利用可能な教材をWeb上に配置した。そして、50分の授業時間と放課後、家庭学習との連続を視野に入れた学習形態を考えた。また、学習にかかわるリンク集を作成し、ホームページに掲載した。学習プリントも掲載しDSKの時間など、一人で学べる時間にも授業時間内ではできなかった調べ学習やプレゼンの作成ができるような環境を整えた。課題としては、生徒が自分の資料創りの中でWeb教材を活用する時、どんな教材が用意されていけばいいのか、という点をさらに明らかにしていきたい。

サセックススクール、韓国との交流については、生徒全員にWebメールのアドレスを配布し、いつでもどこでも、交流できる体制を整えた。韓国語フォントのインストールも完了し、生徒同士の交流が進んでいる。課題としては、メール活用時において、ネチケットの指導をどのようにすすめていくか、また、挨拶や紹介にとどまらない創造的な活用方法について明らかにしていきたい。

5 今後の方向

・9月の中旬に3年生が韓国研修を予定しており、これまでのWebメールの交流を生かした交流を期待している。秋には、サセックススクールとのテレビ会議を予定している。